



株式会社デルソレ

第**62**期 決算報告 **2026**
2025年4月1日～2026年3月31日



食と食の文化を通じて、お客様に満足と幸せを提供します ～ “おいしい” で世界をつなぐ ～

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第62期決算報告をお手元にお届けするにあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

当事業年度におけるわが国経済は、物価高騰の継続による消費者マインドの低下および日々変化する国際情勢等の複合的な要因により、先行きに不透明感を残す状況で推移した一方、雇用・所得環境の改善を背景に景気は緩やかな回復基調をたどりました。

このような経営環境の中、当社は2023年度から2026年度までの事業運営に関する「中期経営計画2026」を策定し、経営理念である「食と食の文化を通じてお客様に満足と幸せを提供する」ことを一貫して追

い求め、「食の安全・安心」を第一に掲げて、「“おいしい”で世界をつなぐ」をミッションに、業績の向上と財務体質の改善を図り、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。なお、2024年10月27日に当社千葉工場で発生した火災事故の影響により、関連する損失への対応および一部製品の出荷数制限や休売を余儀なくされましたが、2025年9月には生産態勢を完全復旧させるとともに、販売政策においては売上構成の見直しによる効率化および高収益化に一層注力してまいりました。

以上の諸施策を実施いたしました結果、当事業年度の売上高は146億2千万円(前期比5.1%減)、営業利益は4億3千万円(同23.3%減)となりました。千葉工場で発生した火災に関連する損失として、営業外費用に操業停止関連費用1億1千1百万円、特別損失に火災損失2千3百万円を計上し、経常利益は3億7千5百万円(同30.4%減)、当期純利益は2億1千2百万円(前期は4億2千2百万円の赤字)となりました。



代表取締役CEO
大河原 毅

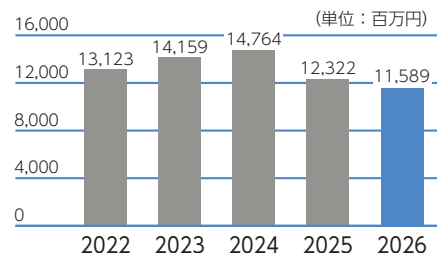
代表取締役社長
武長 栄治

2026年6月
株式会社デルソーレ
代表取締役CEO 大河原 毅

事業別の概況

○ 食品事業

食品事業（売上高）



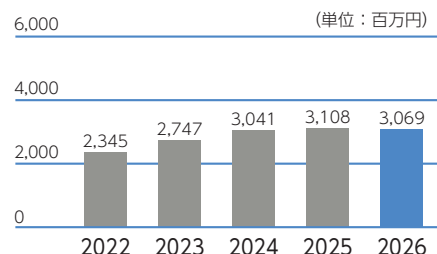
食品事業におきましては、外食業界や中食デリカ部門等を主要取引先とする業務用分野では、大口案件を柱として売上実績を確保しつつ、新規販路の獲得および広域卸問屋への企画提案の強化に取り組んでまいりました。また、食品スーパー・生協等を販売チャネルとする家庭用分野では、火災事故の影響で一時的に失った店頭販路等について、その復活と拡大を最重要課題として取り組んでまいりました。一方で、原材料をはじめとする様々なコスト上昇に対しては、値上げや収益性の確保を必須とする価格戦略を展開するとともに、窯焼きクラストなど付加価値を高めた新商品の投入を図ることで、低収益品から高収益品へのシフトに努めてまいりました。加えて、当社の原点である本格冷凍ピザのラインナップ強化によって商品コンセプトの幅を広げるとともに、主力商品の一つであるトルティーヤが持つ多様なバリエー

ションや生地クラストの魅力をお伝えするために、大規模展示会での実演プロモーションやSNSなどを活用した情報発信などの各種施策を展開してまいりました。合わせて、輸入商品ビジネスについては、引き続きヨーロッパの本格冷凍パンやアメリカ産冷凍チーズの販売による市場開拓を進めるほか、当社商品の輸出にも販路を求め、パートナー企業との連携や円安を追い風とした海外市場の開拓にも努めております。

この結果、当事業年度の売上高は115億8千9百万円(前期比5.9%減)、セグメント利益は8億8千5百万円(前期は1億9千3百万円の赤字)と大幅な黒字化を達成いたしました。

○ 外食事業

外食事業（売上高）

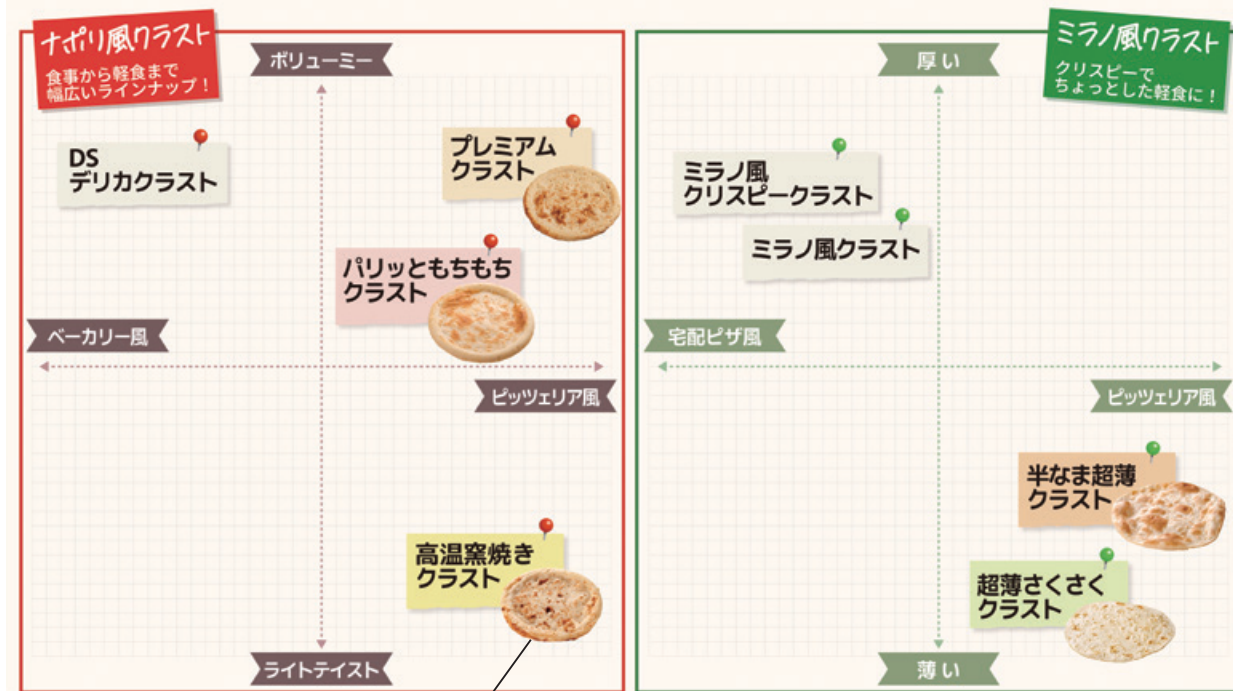


外食事業におきましては、収益改善が見込めなくなった宅配ブランド「上海エクスプレス」を整理する一方、引き続きテイクアウトブランドへの選択と集中に取り組むとともに、主力店舗の利益率改善をはじめとした各種営業施策の実施およびクオリティ、サービス、クリーンネスを担う人材の育成に注力することにより顧客ロイヤリティの向上を目指し、安定した収益確保に向けた店舗運営に努めてまいりました。とりわけテイクアウトブランド強化施策として、ヒット商品「お好み鯛焼き」を提供する「おめで鯛焼き本舗」においてフランチャイズ展開の拡大を図り、7月に大阪府門真市で「おめで鯛焼き本舗らぼーと門真店」、9月に岡山県倉敷市で「おめで鯛焼き本舗アリオ倉敷店」、本年3月に岡山県岡山市で「おめで鯛焼き本舗天満屋ハピーズ西大寺店」を全てフランチャイズ店として出店する一方で、マーケットの変化や

収益性の再検討に伴い「おめで鯛焼き本舗」のフランチャイズ店5店舗を閉店いたしました。なお、北海道八雲町のパノラマレストラン「ハーベスター八雲」に併設する「八雲ピザ工房」で製造する手作りピザの販売促進施策として、全国の百貨店等における催事販売出展を多数開催し、引き続き食品事業とのシナジーの実現にも取り組んでおります。

この結果、当事業年度の売上高は30億6千9百万円(前期比1.3%減)、セグメント利益は1億5千万円(同40.8%減)となりました。

“ピザのパイオニア”がつくる！ 多様なニーズに応える豊富なピザクラスト



解凍いらずで、そのまま加熱！

2026年春・夏新商品を3/1リリース

ザクッと軽い！

新しいナポリ風クラスト。

本格を追求したこだわり製法の「高温窯焼きクラスト」

食品事業

■スーパーマーケットトレードショー2026に出展

～実演プロモーションで魅力を発信～

幕張メッセで日本最大級の食品展示会の一つである「スーパーマーケットトレードショー2026」が開催され、当社も出展しました。当社の幅広い商品とご提案をご来場の皆様に分かりやすくお伝えするため、4つのカテゴリーにゾーニングして展示を行いました。

「フォカッチャ」シリーズから人手不足に対応した2商品が仲間入り!

2025年秋販売 **NEW**

<p>厚手フォカッチャ(70g/120g)</p> <ul style="list-style-type: none"> ふんわり、もちり食感 多様なメニューアレンジが可能 保存料不使用 レンジ耐性に強い 70g・120gの選べる2サイズ 	<p>小さな四角いフォカッチャ</p> <p><時短重視></p> <ul style="list-style-type: none"> 焼成不要(そのままでも食べられる) 冷凍のまま焼成可能 多様なメニューアレンジが可能 多様な焼成機器に適合 60mm×60mmの手のひらサイズ ルヴァン種配合 	<p>スライスフォカッチャ(70g)</p> <p><人手不足・簡便性重視></p> <ul style="list-style-type: none"> 具材を挟みやすいスライス入り オペレーションの軽減・安定化 多様なメニューアレンジが可能
---	--	---



「小さな四角いフォカッチャ」に続き、既存の厚手フォカッチャに便利な切り込み（スライス）を施した「スライスフォカッチャ」を新発売。手間のかかるカット工程を省いたことで誰でも簡単に、安定して具材を挟むことが可能で現場の負担を軽減する強力な味方となります。

トルティーヤで「巻く・折る・包む」だけ！
いつもの食材が新しい美味しさに!

おくるみ巻き / プリトー巻き / ガジェットサンド / クウォーターサンド / おにぎり巻き



当社の主力商品群であるパン・生地系カテゴリーでは、利便性と多様なアレンジを訴求しました。なお、「トルティーヤ」では、「巻く・折る・包む」といった多彩な巻き方のバリエーションを提案し、新しい美味しさをお伝えしました。



「スーパーマーケットトレードショー2026」
2026/2/18～20（千葉県千葉市）

外食事業

■日経フランチャイズショー2026に出展

～鯛焼きフランチャイズ展開を拡大～

高まる中食需要に対応した高い満足を提供できるコンセプト「京鳥」と「おめで鯛焼き本舗」の出店強化に取り組んでまいりました。特に「おめで鯛焼き本舗」ブランドにおいては、全国拡大に向けフランチャイズ・システムの更なる活性化を目指しており、本年も東京ビッグサイトで開催された「日経フランチャイズショー2026」に出展し、新規加盟店オーナー様の募集を行いました。ブースでは「鯛焼き試食」の実施に加え、「コンセプト動画を通じたご紹介」や「ビジネスモデルのパネル掲示」等を行いました。興味を持たれた多くのオーナー様から「法人の本業とのコラボ企画」「個人運営（既存店舗への併設）」等の希望が多数ありました。



「日経フランチャイズショー2026」
2026/3/4～6（東京都江東区）

■「おめで鯛焼き本舗」新店舗のご紹介

3/5
OPEN

F C店舗
天満屋ハピーズ西大寺店
(岡山県岡山市)



■「テイクアウトブランド」全国で催事出店を展開中

創業から38年の歴史を持つ「ハーベスター八雲」のコンセプトをそのままに、大人気オリジナルフライドチキンと北海道・八雲町の豊かな自然と職人の技が融合した最上位商品「HOKKAIDO PIZZA」に、新商品として「スベアリブ」を加え、全国百貨店で催事展開しております。また、初めて「おさるのジョージ」人形焼を催事出店し、お子様連れのお客様のお土産として喜ばれています。



●HOKKAIDO PIZZA

2025/10/4～10/13
2025/10/15～10/21
2025/10/29～11/4
2026/3/3～3/9

京急百貨店上大岡店（神奈川県横浜市）
横浜高島屋（神奈川県横浜市）
新宿高島屋（東京都渋谷区）
ジェイアール名古屋タカシマヤ（愛知県名古屋市中区）

●おさるのジョージ

2026/3/5～3/11

アリオ上尾（埼玉県上尾市）

海外パートナー

■パートナー企業とのリレーションを強化

～『“おいしい”で世界をつなぐ』海外事業～

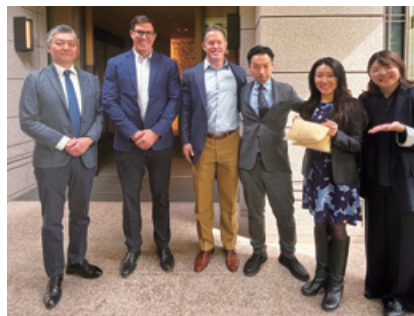
当社の海外ビジネスは輸出入の両軸で更なる成長を目指します。輸入においては、リトアニア共和国・Mantinga社との冷凍パンビジネス、米国・Leprino社とのチーズビジネスをコアとし、一方では新たな輸入商品の取扱いを検討すべく、海外メーカーとの商談を積極的に展開しております。輸出においては、香港、韓国をはじめとした現地企業様との直接貿易を軸に、台湾他、更なる新規市場の開拓を狙い、海外企業にむけた営業活動に注力しております。引き続き日本の『冷凍ピザパイオニア』としての自信と誇りを大切にし、長い歴史で培った技術と伝統を海外でも展開することで、『“おいしい”で世界をつなぐ』というコーポレートミッションをグローバルで実現してまいります。

【Mantinga社・ヨーロピアンブレッド】
本格冷凍パン新商品（2025）



グレイン&シードブレッド
(Bread with Grain & Seeds)
穀物と種子がたっぷり入った、
スパイスの効いた香ばしいダークブレッド

【Leprino社・シュレッドチーズ】
世界最大のモッツァレラチーズメーカー



Leprino社の経営層とともに

当社は新体制のもと、
海外企業との更なるアライアンス
構築に挑戦してまいります！

CSR

■第13回「忘れな草プロジェクト」東京にて開催！

「忘れな草プロジェクト」は、当社が参画する社会貢献活動「ほのぼの運動」の一つで、2011年に発生した東日本大震災の影響で風評に苦しむ農産業支援を目的として立ち上げたプロジェクトであり、今年で13回目を迎えます。

今年も、東日本大震災復興支援の想いを能登半島地震による被災者支援へと繋ぐため、“グリーンアイランド・フェスティバル2026”内特設ブースおよび会場となった代々木公園内で福島県の農業高校生らとともに忘れな草を手渡し、被災された方々に寄り添い、支援の一助となるべく募金活動に取り組みました。

今後も「ほのぼの運動」を通じた社会貢献をはじめとして、ステークホルダーに対する社会的責任を果たすためのCSR活動を実践してまいります。



「グリーンアイランド・フェスティバル2026」
2026/3/14～15（東京都渋谷区）

■「Hand's on Tokyo」ヘナン100枚を寄付！

当社はCSR活動の一環として、障がいのある方に「はたらく・たべる・わらう喜び」を経験してもらう活動を行う「Hand's on Tokyo」の取り組みに賛同し、ナン100枚を寄付いたしました。2025年12月20日に開催された「世田谷区立教育総合センターメッセ2025」に出店されたフードトラック「LIVESキッチン」では、障がいのあるスタッフ7名とボランティア6名が協力し、提供したナンを使った「ナンドック」などを販売しました。大変好評をいただき100食が完売し、同団体からは「食を通じて来場者の皆様と自然な交流が生まれました」との嬉しいご報告をいただいております。当社は今後も、多様な方々の社会参加を応援する活動を継続してまいります。



「世田谷区立教育総合センターメッセ2025」
2025/12/20（東京都世田谷区）

財務諸表

貸借対照表 (要旨)

(単位: 千円、千円未満は切捨て)

	第62期期末 (2026.3.31現在)	第61期期末 (2025.3.31現在)
(資産の部)		
流動資産	5,682,344	5,998,312
固定資産	4,563,203	4,246,320
有形固定資産	3,209,358	2,834,331
無形固定資産	13,986	8,511
投資その他の資産	1,339,858	1,403,478
資産合計	10,245,547	10,244,632
(負債の部)		
流動負債	2,531,720	2,631,408
固定負債	1,483,608	1,493,128
負債合計	4,015,328	4,124,536
(純資産の部)		
株主資本	6,119,887	6,041,363
評価・換算差額等	110,331	78,732
純資産合計	6,230,219	6,120,096
負債純資産合計	10,245,547	10,244,632

損益計算書 (要旨)

(単位: 千円、千円未満は切捨て)

	第62期 (2025.4.1~ 2026.3.31)	第61期 (2024.4.1~ 2025.3.31)
売上高	14,620,266	15,403,734
売上原価	9,186,267	9,706,701
売上総利益	5,433,999	5,697,033
販売費及び一般管理費	5,003,692	5,135,870
営業利益	430,306	561,162
営業外収益	65,544	158,955
営業外費用	120,757	181,014
経常利益	375,093	539,103
特別利益	39,601	158,021
特別損失	70,709	1,298,215
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	343,985	△601,090
法人税、住民税及び事業税	31,314	102,699
法人税等調整額	100,571	△280,984
当期純利益又は当期純損失(△)	212,099	△422,804

キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 千円、千円未満は切捨て)

	第62期 (2025.4.1~ 2026.3.31)	第61期 (2024.4.1~ 2025.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△124,713	903,435
投資活動によるキャッシュ・フロー	△704,677	△254,719
財務活動によるキャッシュ・フロー	△192,060	△168,457
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,021,451	480,258
現金及び現金同等物の期首残高	2,737,373	2,257,115
現金及び現金同等物の期末残高	1,715,922	2,737,373

株式の状況 (2026年3月31日 現在)

株式の状況

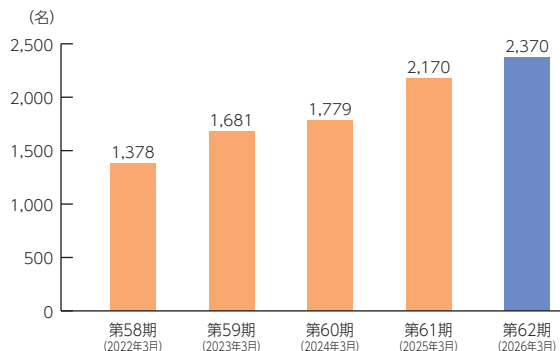
■ 発行可能株式総数	14,000,000株
■ 発行済株式の総数	9,105,290株 (自己株式200,292株を含む。)
■ 株 主 数	2,370名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
大河原 愛 子	2,262,000	25.40
大河原 毅	1,534,250	17.23
PT INDOFOOD CBP SUKS ES MAKMUR TBK	900,000	10.11
株式会社ミツウロコグループ ホールディングス	300,000	3.37
株式会社ニチレイフーズ	255,000	2.86
株式会社三菱UFJ銀行	215,000	2.41
マリンフード株式会社	205,700	2.31
株式会社商工組合中央金庫	200,000	2.25
日清製粉株式会社	180,000	2.02
和 田 隆 介	155,700	1.75

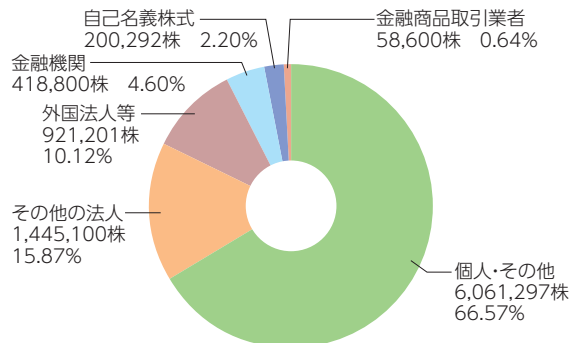
- 1、当社は、自己株式を200,292株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
- 2、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主数推移

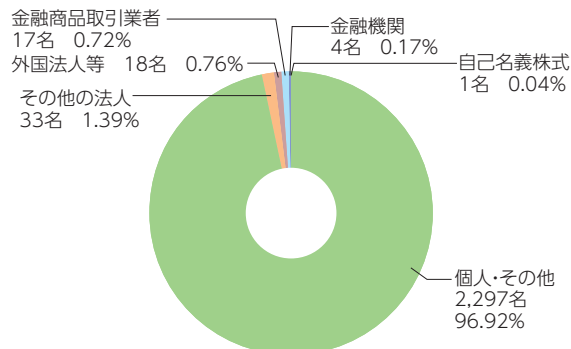


株式分布状況

株式数別



所有者数別



会社概要

会社概要 (2026年3月31日現在)

設立	1964年(昭和39年)11月19日
資本金	9億2,293万円
主な事業内容	食料品の製造・加工および販売、外食産業、その他
従業員数	241名

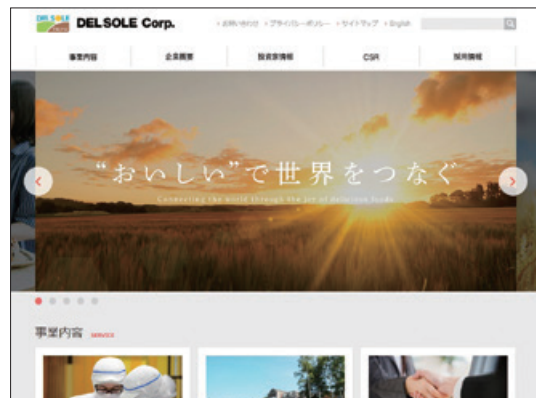
役員 (2026年6月23日現在)

代表取締役CEO	大河原 毅
代表取締役社長	武長 栄治
取締役	アーネスト M. 比嘉
取締役	印部 修一
取締役	三枝 広幸
取締役	栗本 佳昭
取締役	加藤 俊行
取締役(社外取締役)	遠藤 貢
取締役(社外取締役)	近藤 正樹
監査役(社外監査役)	金原 俊一郎
監査役	高柳 泉
監査役(社外監査役)	山田 勝重

ホームページのご案内

<https://www.del-sole.co.jp>

当社に関する最新情報等をお伝えしております。
ぜひ、ご覧ください。



株主の皆さまの
声をお聞かせください

コエキク

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に
表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

スマートフォンから
カメラ機能でQRコードを読み取り

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」✉ koekiku@pronexus.co.jp

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主 確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-232-711（フリーダイヤル）
郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場金融商品取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告方法	電子公告により当社ホームページ（ https://www.del-sole.co.jp ）に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社デルソレ

〒135-0063 東京都江東区有明三丁目4番10号TFTビル西館7階
TEL 03 (6736) 5678 (代表) FAX 03 (6736) 5751
<https://www.del-sole.co.jp>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

